



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2022年7月・8月合併号ブリテン

通算第133号 2022.8.25



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主題 (Theme)

国際会長: (IP) K・Cサミュエル (インド) 「フェロシップとインパクトで次の100年」
アジア太平洋地域会長: (A・P) チェン・チ・ミン (台湾) 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
東日本区理事: (RD) 佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
北東部長: 大久保 知宏 (宇都宮) 「クラブのミッションを育てよう」
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「活動の協働を進め、クラブの活性化を図ろう」

今月の聖句

神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。

創世記1章3節

加藤 雄一

巻頭言

「8月巻頭言…8月に思う」

加藤 研

幼い頃の夏はひたすら暑かった。くっきりランニングシャツの跡が体に残った記憶がある。今のように家族で海や山で休暇を楽しむことはなく、鍵っ子のごとく日がな一日過ごした。必然的にテレビをよく見たが、今でも記憶に残る番組があった。「小川宏ショー」毎年8月になると戦争体験を綴った手紙を放送していた。『ソ連兵に追われ満州から必死の逃走、母は幼子の命を守るため疲弊し次第に心も体も病んでゆく。ある日、口の周りを真っ黒にした母が懐から石炭のかけらを取り出し「これ美味しいから食べてごらん」…』涙ながらに小川さんが語った姿が半世紀経っても忘れられない。その後大岡正平「野火」なかにし礼「赤い月」胡桃沢耕士「黒パン俘虜記」遠藤周作「深い河」を手にした時、あの時の小川さんの涙と重なった。戦いを始めた人は決して戦の第一線では戦わない。苦しむのは罪もない人々だ。せつかく授かった一度きりの命、決して奪われてはならない。ウクライナの人々は日々どんな想いで暮らしているのだろうか。戦いは幸せを呼ぶのだろうか？永六輔さんは「殺されなくても人は死ぬ」と言い日本人が忘れてならないのは「8月や6日9日15日」と作句した。(この句は永さんのものではなく沢山の方が作句している)もうすぐ秋。夜長に読書を楽しむとき「平和ってどんなことだろう？」と暫し考えてみよう。「野火」「深い河」には「神」が見え隠れしている。当クラブの新年度のスタート、孤軍奮闘する会長の足を引っ張らぬよう頑張ろうと思う。

2022~2023 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	E M C	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
書 記	多田 修	D B C	菅野 健	メネット会長	多田 純子
会 計	多田 修	D B C	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
副 会 計	本野日出子	ユース	佐藤 剛	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	ユース	清水川 洋	メネット会	加藤 真紀子
監 査	高篠 伸子	YMCA サービス	門脇 秀知	メネット会	門脇 たまえ
地域奉仕	阿部 松男	YMCA サービス	佐藤 善人	担当主事	増山 和憲
C S	本野日出子				

8月第1・第2合同例会 強調月間：CS							
在籍者	15名	出席者	0名	メイキャップ	0名	出席率	0%
メネット	0名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	0円		

【7月第1・第2例会 8月第1・第2例会 報告】

コロナウィルス感染予防の為、集まっていたの例会は中止となりました。

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 2022-2023 年間事業計画 (案)

年	月	強調月間	例会 18:45~ 日時変更の場合あり		メネット会	関連行事	区・部・その他	
			開催日	内容				
2022	7	キックオフ	第2	6	総会議題整理	(未定)	10 半年報部提出	
			第1	20	総会		15 半年報部提出	
	8	CS	第2	3	会員研修		15 前期区費 納入期限	
			第1	17	納涼会			
	9	ユース	第2	7	移動例会		23 チャリティーラン	17 北東部会
			第1	21	企画			
	10	EMC-E YES	第2	5	会員研修		9 YMCAバザー	
第1			19	芋煮会	20 チャリティーゴルフ			
11	ワイズ理解 ファミリーファースト	第2	2	会員研修	留学生による日本語プレゼンテーション 国際協力募金			
		第1	16	お泊り会				
12	EMC-MC	第2	7	会員研修	9 YMCAクリスマス 国際協力募金			
		第1	21	クリスマス				
2023	1	IBC-DBC	第2	4	会員研修	10 半年報部提出		
			第1	18	新年会	15 半年報部提出		
	2	TOF	第2	1	移動例会	15 各種献金部送金		
			第1	15	企画	前期区費納入期限		
	3	BF メネット	第2	1	移動例会	4-5 次期会長研修会		
			第1	15	会員研修			
4	LT	第2	5	会員研修				
		第1	19	お花見				
5	EF/JEF	第2	4	移動例会				
		第1	18	企画				
6	評価	第2	7	会員研修				
		第1	21	期末反省会		3-4 東日本区大会		

2022-23 会長方針



仙台広瀬川クラブ 会長 菅野 健

会長主題 「活動の協働を進め、クラブの活性化を図ろう」

私たちが大切にしている、「ワイズの信条」には、「青少年のためにYMCAにつくそう」とあります。具体的には、「YMCAをサポートし、その活動を支える」ことです。また、仙台YMCAの全体事業構想には「YMCA運動の協働」が取り上げられており、その最初に「ワイズメンズクラブとの協働をすすめる」とあります。

仙台の4ワイズメンズクラブは、全国のクラブの中でもYMCAとの関りが強いでしょう。市内3クラブの事務所は仙台YMCAに置かれ毎月の例会もまた仙台YMCAで開かれています。また、仙台YMCAの常議員会をはじめ各組織役員にもワイズメンが多数就いています。さらに各クラブ会員には仙台YMCA職員の方々が名を連れています。「そのような中で近年懸念されることも見られます。YMCAには、年間を通じていくつかのプログラムがあり、それぞれにワイズメンズクラブからの委員長以下の委員派遣が求められます。適任な委員を派遣するためにはある程度の経験と会員数が必要であります。

仙台広瀬川クラブをはじめ、仙台4クラブでも会員数の現状維持が厳しくなり、会員の高齢化が目につき、YMCAプログラム委員に望まれる適任者を派遣することが難しくなり始めました。近年、北東部でもいくつかのクラブが残念ながら解散しました。「適性な会員数」を維持することが出来なかったことによります。この現状に鑑みて、複数のクラブによる協働活動を検討すべき時期に来ているのではないかと考えます。

「協働」とは「同じ目的のために、力を合わせて働くこと」と定義されています。

「各クラブ間で協働の途を探り、その先に仙台YMCAとの協働をすすめる。」ことが2023年度の課題であると考えます。1つのクラブだけの力よりは2つのクラブが力を合わせることでより大きな力を発揮できるでしょう。具体的には仙台にある身近なクラブと共に協働について話し合っていきたいと考えます。

仙台育英

優勝

おめでとう



107年前の1915年夏の第1回大会で秋田中学が準優勝して以来、春夏合わせて13度目の決勝進出で、悲願の「大旗の白河の関超え」が仙台育英により成し遂げられました。

1969年夏には三沢高校太田投手が延長18回引き分け、再試合で準優勝。89年には仙台育英エース大越で挑戦も準優勝でした。そして2022年夏、「東北の100年越しの夢」がかないました。

明治維新以来「白河以北は・・・」揶揄されて来ました。仙台の伊達藩は幕末から長州薩摩より下に見られ、戦後も山口下関出身の歴代首相（岸・佐藤・安倍）が相次ぎました。その山口下関に勝っての優勝、こんな嬉しいことに出会えたことに感謝です。（菅野健）

YMCA通信

- ◆仙台YMCAチャリティーランは、今年で28回目を迎えます。今年は9月23日（金・祝）に聖和学園短期大学にて開催されます。
 - ◆第34回ユースボランティアリーダーズフォーラムが、9月30日（金）～10月2日（日）東京YMCA山中湖センターにて開催されます。仙台YMCAからは、2名のユースボランティアリーダーが参加するために準備を進めています。
-

9月の予定

- ◆9月 7日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会 18：30～
- ◆9月21日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会 18：30～
- ◆9月23日（金・祝） 第28回仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022

【編集後記】

今年の夏は、仙台七夕や前夜祭の花火大会が行われました。しかし、今後もコロナ感染予防にしっかり努めていきたいですね。

【K・M】